

音楽科授業案

日時 平成29年10月24日(金)公開授業Ⅱ
生徒 1年C組 男子18名 女子16名
授業者 齊藤貴文
授業場 中学校音楽室

1 題材名「Call & Response」 中心題材『C Jam Blues』(D. エリントン作曲)

2 題材の目標

楽曲「C Jam Blues」を形づくっているジャズ特有の音階やリズム、コール&レスポンスなどの構成の工夫などを理解し、そのよさを考えながら鑑賞することができる。また、ジャズ特有の音階やリズムの特徴を生かし、コール&レスポンスを取り入れたジャズらしい演奏をする創作活動に積極的に取り組み、表現することができる。

(1) 題材観

科学技術の進歩はめざましく、音楽業界においてもコンピュータの発達による影響は顕著である。今や音楽は、生の声やピアノ、ヴァイオリンをはじめとする楽器によって創られるものだけではなく、キーボードや数字の入力によっても造られる時代となった。綿密に計算し尽くされたコンピュータによる演奏は決してミスが無い。完璧な演奏を何度も繰り返し行うことができることが利点の一つである。しかし、時とともに移り変わる音楽表現は、本来同じことができないものである。同じ楽譜でも人(指揮者や演奏者)が違えば演奏は異なり、一人一人がもつ個性や空気感を感じられるからこそ「創られた」音楽はかけがえのないものとして存在し、心を揺さぶられるものであるはずだ。コンピュータによって「造られる」正確無比な演奏はどことなく味気なく感じてしまうのは、感動するものはいつまでも人が関わる演奏だと信じていたい私だけだろうか。

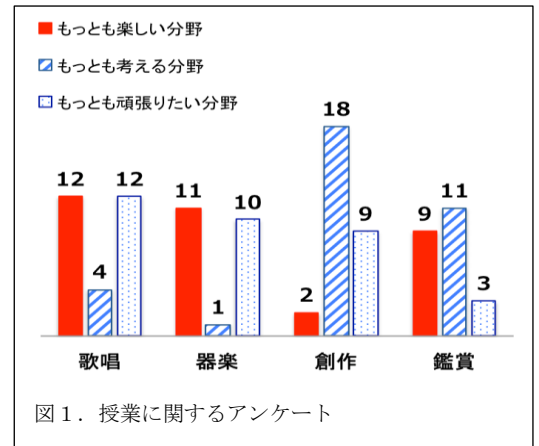
平成29年6月に示された新学習指導要領解説では、改訂の基本的な考え方の一つに「感性を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見出したりすることができるよう、内容の改善を図る。」とある。また、第4章 指導計画の作成と内容の取扱いでは、「音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや美しさなどを見いだしたりするなど、思考、判断し、表現する一連の過程を大切に学習の充実を図ること。」とある。このように、音楽科の学習において感性を働かせることはもちろん、他者との協働において音楽を捉える活動を一層進めるとともに、思考、判断し表現する学習過程の充実が期待されている。

本題材では2つの中心題材を設定した。鑑賞領域の中心題材と設定した楽曲「C Jam Blues」はD. エリントンによって作曲されたジャズのスタンダード・ナンバーであり、現在でも様々な編成において演奏される楽曲である。繰り返されるコード進行とともに、スウィングのリズムに乗って奏でられる各楽器によるアドリブ演奏が大変魅力的な楽曲であり、ジャズに興味を持ち始める中学生の時期において生活の経験とつながる題材でもある。また、創作の題材の中心は「ブルー・ノート・スケール」とした。実践では、生徒がブルー・ノート・スケールの理解を通して、主体的にブルースのリズムに合った(乗った)旋律を創作していく。また、コール&レスポンスの楽式を取り入れ、音楽が他者との協働によって次々に発展的に広がって成り立つジャズの魅力を実感させていく。自らが主体的に創った旋律が、1コーラスの一部となり音楽として形づくられていく魅力は決してコンピュータによって作られた音楽では味わえないよさであることを気づかせていきたい。

(2) 目指す生徒像

音楽科が目指す生徒像は「感性を働かせて音楽のよさや美しさを味わう」姿である。本題材では、鑑賞を通して得た音楽的な見方・考え方となるジャズ特有のリズムや音階（ブルー・ノート・スケール）をもとに、旋律創作をしていく。ペアやグループでコール&レスポンスを行い、音楽の構成を工夫する活動を通して、自らの音楽的な「見方・考え方」を深めたり広げたりすることによってその意味がある。

授業学級である



しかし同時に、中学校に入学し、頑張りたいという思いも見られることから、本題材において他者とともに協働するなかで、目指す生徒像へと近接させるとともに、むずかしいけれどもやりがいがある創作の楽しさに気づかせていきたい。

(3) 指導観

以上のことから、本題材においては、次の点に留意して指導にあたることとする。

自分の思いや意図を明確にし、対話的な学びを促進する活動の工夫

① 自己の音楽に対する価値意識とその理由や根拠を他者と比較・検討する場の設定 ～I

本題材では、鑑賞においてジャズそのものやコール&レスポンスの特徴を捉えたうえで、グループで一つのコーラスを創り上げ、「ジャズの魅力」（価値意識）を探ることを課題としている。グループで一つのコーラスを創る際には、全員が演奏の一部となるため、一人一人が音楽の特徴を捉えることが不可欠である。しかし、自分だけでは、表現技術や演奏のポイントに十分に迫れない場合もあり、そのままではジャズの魅力を強く感じられないことが考えられる。

そこで、他者とともに自己の表現の仕方や方法、考え方を比較したり、検討したりする場を設定することで、対話的な学びを促進し、音楽的な「見方・考え方」が強化されていくことを期待している。

本題材における音楽的な「見方・考え方」と「対話的な学び」との関係性

本題材における音楽的な「見方・考え方」は、ジャズそのものやコール&レスポンスの特徴ともなる「音階」と「リズム」が中心となる。特にジャズ特有の雰囲気を作る「ブルー・ノート・スケール」や「スウィング」「シンコペーション」等のリズムや効果的な「休符」の取り方は音楽的な「見方・考え方」のポイントとなる。

しかしながら、目に見えず、時とともに変化していく音楽の場合は、その要素やポイントを捉えることは決して簡単なことではなく、これまでの生活経験によってその差は大きいと考えられる。

そこで、対話的な学びを通して、「見方・考え方」を広げることや、お互いに共感することで音楽的な「見方・考え方」を一層強固なものとするのが大切なことだと考える。

4 評価規準

音楽への 関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
<p>ア 「C Jam Blues」の音楽を形づくっている特徴と曲想との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的・対話的で深い学びに取り組もうとしている。</p> <p>イ ジャズの特徴に関心をもち、それらを生かして音楽表現を工夫しながら簡単な旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>ウ コール&レスポンスに関心をもち、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりなどに関心をもち、それらを活かした音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>ア ジャズの特徴からイメージを膨らませ、ジャズ特有の音階やリズム等の働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽や音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもつことができる。</p> <p>イ ジャズの特徴からイメージを膨らませ、ジャズ特有の音階やリズム等の働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫し、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつことができる。</p>	<p>ア ジャズの特徴となる、ブルー・ノート・スケールをいかした音楽表現をするために必要な技能を身につけて簡単な旋律をつくることができる。</p> <p>イ ジャズの特徴となるブルー・ノート・スケールやコール&レスポンスを理解し、反復、変化、対照などの構成を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけて旋律をつくることができる。</p>	<p>ア 「C Jam Blues」の音楽を形づくっている特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じるとともに、曲想との関わりを感じ取って、解釈したり価値を考えたりし、言葉で説明するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。</p>

5 学びの過程のデザイン（全4時間 鑑賞1・創作3）

下支えする主体的な学び	学習活動	手立て
<p>イメージや感情が喚起される題材や提示の工夫 A-①</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近なジャズの楽曲を取り上げ導入とする。 ジャズのよさを追究する活動を設定。 	<p>1時間目：鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽曲との出会い。 ジャズの特徴を音楽から捉える。 ブルー・ノート・スケールやリズムの特徴を理解する。 コール&レスポンス（以下 C&R）について理解する。 <p>関心ア 鑑賞ア</p>	<p>自己の音楽に対する価値意識の理由や根拠を他者と比較・検討する場の設定 I</p> <p>ジャズの特徴を踏まえた C&R の秘訣を追究する活動を設定し、自分（たち）の考えた演奏がグループ（全体）の中においてどんな役割を果たすのかを考えていく。活動の中において、自分の作った演奏のふさわしさやよさをグループ（全体）の中で比較・検討する活動を設定する。この場を設定することで、協働の必要感を生み出すとともに、その場の活動を通して、「見方・考え方」を強化することにつなげたい。</p>
<p>音楽のよさや美しさを捉える「勘所」を促す発問 A-②</p> <ul style="list-style-type: none"> 「最もジャズの特徴を感じさせる要素は何か」「C&R 成功のポイントは何か」と発問することで数ある要素の中から勘所となる要素を追究していくことを期待する。 	<p>2時間目：創作</p> <ul style="list-style-type: none"> ジャズの特徴を踏まえた旋律を創作する。 グループで演奏しながらジャズの特徴や工夫のある構成の C&R の演奏を考える。 <p>関心イ 創意ア</p>	
<p>音楽のよさや美しさを捉える「勘所」を促す発問 A-②</p> <ul style="list-style-type: none"> 「最もジャズの特徴が出ている演奏の秘訣は何か」と発問することで数ある演奏の中から勘所となる要素を追究していくことを期待する。 	<p>3時間目：創作〔本時〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 作り上げた演奏を聞き合い、よさを共有する。 演奏の交流を通してよりよい表現にするための方法を共有する <p>創意イ 技能ア</p>	
<p>自己の価値意識をその理由や根拠をもとに再構成する場の設定 B</p> <ul style="list-style-type: none"> 他者との対話を通して、再度自分なりの根拠をもとにジャズのよさや C&R の秘訣をまとめる場を設定する。 	<p>4時間目：創作</p> <ul style="list-style-type: none"> 作り上げた演奏を聞き合い、よさを共有する。 ジャズの特徴を捉えて全員で C&R を行い、ジャズのよさを共有する。 <p>関心ウ 技能イ</p>	

6 本時について (3/4 時間目)

(1) 本時の目標

ジャズらしい演奏をするための秘訣を捉える活動に主体的に取り組み、自他の演奏を比較・検討することを通して、演奏のポイントとなる秘訣を見出すことができる。

(2) 本時における研究の視点

本時では、よりジャズらしい演奏にするために自他の演奏を比較・検討する場をもち、その理由や根拠を捉えていく。自分が意図する理由や根拠を明確にしていく過程の中で、音楽的な「見方・考え方」を内包した思考を働かせながら自他の演奏を比較・検討し、よい演奏を模索することで、対話的な学びの必要感を実感させ、音楽的な「見方・考え方」を広げ、強固なものとしていく。

(3) 本時の展開 (○発問, △補助発問, □指示・説明, WS : ワークシート)

学習活動 (下位目標)	主な働きかけ 手立て	【評価方法】 個に応じた指導 (▲)
<p>1 ジャズの特徴を発表することができる。</p> <p>・リズムの特徴 スウィング・シンコペーション ・音階の特徴 ブルー・ノート・スケール ・コール&レスポンスの特徴 など</p>	<p>○ジャズの特徴にはどんなものがありましたか。 ○班の中でよりジャズらしい演奏をするための秘訣をまとめ、演奏する準備は整いましたか。</p>	<p>【発表】</p>
<p>◎よりジャズらしい演奏にするための秘訣とは何か A</p>		
<p>2 自分 (たち) が考えたよりジャズらしい演奏をするための工夫を班で比較・検討し、まとめたものを、WSにまとめ、発表するための準備を行うことができる。</p> <p>・最初はリズムを跳ねるように・・・ ・音は繰り返しを少し多くして ・高低を大きさに動いたほうがいいのかも・・・</p>	<p>○ジャズ演奏の秘訣はどこにありますか。演奏の工夫をまとめ、発表する準備をしましょう。 手立て I △どんな要素をどのように工夫しているのでしょうか。</p>	<p>【観察・WS】</p>
<p>3 コード進行に合わせ、ジャズの特徴をいかした演奏を発表することができる。</p> <p>・最初はリズムを・・・ ・繰り返しを少し多くして ・大きさに動いたほうが・・・ (最もジャズの特徴が出ている…) ・間のとり方が上手 ・つなげ方がうまい ・繰り返しとかをうまく使っている</p>	<p>○ジャズの特徴をいかした演奏はどんな演奏でしょうか。班ごとの演奏にどんな工夫があるのかを考えながら聞き取りましょう。 ○最もジャズの特徴が出ている演奏はどんなところに工夫がある演奏でしたか。 A △特徴を出すためのポイントはどの部分にありそうですか。</p>	<p>【発表】</p>
<p>4 発表を聴いて、捉えた工夫や演奏のポイントを共有し、再度自分たちの演奏を見直し、よりジャズらしい演奏するために検討することができる。</p> <p>・少し使うリズムを減らしてみよう・使うリズムの構成を替えてみよう ・よく聞いてつなげてみよう</p>	<p>○自分たちの演奏をよりジャズの特徴をいかした演奏にするためにはどうしたらよいでしょうか。 B △どこに工夫が必要ですか。</p>	<p>【観察】</p>
<p>5 本時で考えたジャズらしい演奏のポイント等をWSに記入しまとめることができる。</p> <p>・音は決して多くなくても良さそうだ ・間やタイミングのとり方が大事だ ・1コーラスの中に大胆な演奏もあると面白い</p>	<p>○ジャズの特徴をいかした演奏するためにはどんなことが大切でしたか。WSに今日を振り返りながらまとめましょう。 △どんな工夫をしたら、よりジャズらしくなったと思いましたか。</p>	<p>【WS】</p>